

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農林水産局 漁 港 課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課 長 澄田 泰 造 〔 課長補佐兼計画係長 〕 菊 島 敏 行	内線	4172 (4179)
------	----------------------	---------------------	--	----	----------------

事業種目	漁港漁村整備	事業名	事業区間	総事業費	約3億円
		漁港漁場機能高度化	育波漁港地区	内地地補償費	- 億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
津名郡北淡町育波			H17	H17	H20

事業目的	事業内容
当漁港は、播磨灘における船曳網漁業の陸揚流通加工拠点港として、漁船の大型化や外来船利用が増加するに伴い、係留施設、用地等の不足から、円滑な漁業活動に支障をきたしている。本事業により係留施設、用地等の整備を行い、陸揚作業等漁業活動の効率化、就労環境の安全性向上を図る。	係留施設 -2.0m物揚場 1 1 3 m -2.5m物揚場 9 1 m 水域施設 泊地浚渫 3 , 6 8 0 m ² 漁港施設用地 4 , 1 0 0 m ² 負担割合(国50% 県40% 地元10%)

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	当漁港は、船曳網漁業により、イカナゴ、シラスの陸揚げが盛んであり、冬季にはノリ養殖も行われ、背後に水産加工業者が数多く立地し、島内の陸揚流通加工拠点として、地域の産業振興に大きな役割を担っている。しかしながら、船曳網漁業の漁獲物運搬船の大型化や外来漁船の増加により、係留施設、用地等の不足から陸揚岸壁が混み合い効率的で安全な漁業活動に支障をきたしているため、漁業就労環境の改善が求められている。当事業により係留施設、用地等の拡充整備を行い、漁業活動の効率化、就労環境の安全性向上を図る必要がある。
(2)有効性・効率性	陸揚施設としての機能を強化するため、荷さばき所に隣接した休憩施設を陸揚施設とする。また、既存の船揚斜路を物揚場として新設し、休憩機能を港内側にシフトし、漁港全体の係留機能分担と拡充を行う。これにより、港内における混雑解消、陸揚時間の短縮等、船曳網漁業の効率化と港内における漁業活動の安全性の向上を図る。 平成14年に漁港関連道を整備し、アクセス機能を強化しており、これに加え、本事業による陸揚機能を増強することにより、漁獲から陸揚、流通に至る一貫した漁業基地としての機能強化を図り、あわせて漁獲物の品質管理の向上を図っていく。 また、漁船維持修繕機能の増強を図るため、漁協が漁船上架クレーンの整備を行う予定であり、漁港整備と併せて、漁港全体の機能増強を図る総合的な事業の執行体制が整っている。 費用便益比 B/C=1.57
(3)環境適合性	当事業は漁港内の船揚斜路部分の係留施設整備に伴う小規模な埋立及び浚渫であり、水域環境への影響は極めて軽微である。また、造成された用地背後に緩衝緑地を設け生活環境の改善を図っていく。
(4)優先性	当漁港の背後には多くの水産加工業者が立地し、イカナゴ、シラスを原料とした水産加工業が活発に営まれていることから、地域の産業振興と活性化を図る上で漁港機能の増進が必要不可欠となっている。とりわけ、利用漁船数の増加や漁船の大型化により係留施設、用地等が不足していることから、これら施設の拡充整備を行って、早期に作業効率の向上と安全な就労環境を確保することが求められている。